

定業務を再開していく。

再開にあたっては、事業内容の変更は生じるが、駅周辺に核となる公共施設が配置されることをPR材料にし、改めて保留床取得希望者の確保に努め、再開発事業の基本計画をまとめたかと考えている。

- ・掲載以外の質問事項
- ・いじめについて
- ・空き家対策について

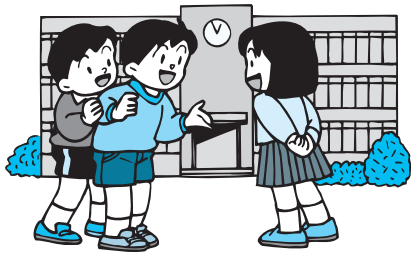
いじめ防止対策の強化について



吉田千鶴子議員

質問 いじめは、いじめをする側が100%悪いという理念を学校や家庭、地域の内外に明確に示し宣言すべきと思うが、その理念の浸透を図ることについて伺う。

教育長 学校ではこれまでも、道徳や特別活動の授業の中で、いじめ防止につながる概念を指導してきたが、大津市の事件を機会に、改めて子どもたちに指導する必要があると考えている。



いじめは弱者に対して個人または集団で意識的に、精神的あるいは肉体的な苦痛を与えることなので、苦痛の程度によって、いじめかそうでないかの区別をするようなことではない。

どんな理由があっても、どの程度の行為であっても、受けた側が苦痛と感じれば、それは同じ環境に生きる人間として、決して許されない卑劣な行為である。

このような考え方を理念として、学校でも家庭でも、地域においても同じ視点で、いじめの問題行動に対して協力的に協力し合い、関わっていく必要があると考えている。

- ・掲載以外の質問事項
- ・防災について
- ・熱中症の予防対策について

コウノトリが舞う霞ヶ浦流域をめざして



柏村忠志 議員

質問 桜川河川敷や鶴沼などのため池、耕作放棄地、水田の冬水田んぼなどにコウノトリが生息できる環境整備を市が率先して行うことを提案するが、市長の見解を伺う。

市長 議員のご質問は、これからの本市のまちづくりの一つの手法としてのご提案であり、コウノトリの飼育、野生化という自然環境保全を活かしたまちづくりを推進すること、あわせて観光の振興や環境保全型農業の転換に先鞭を付けるものとして捉え、相乗効果を生み出すことにすると理解をしている。

肝要なのは、そのような環境に敏感な鳥の生育や野生化が可能となるフィールドづくり、例えば、無農薬、あるいは極力農薬を使用しない環境保全型農法の確立や市民の意識改革及び化学物質などの流入を抑える対策など、まずは

より安全・安心な水辺や里山など、自然環境の保全や拡大を講じていかなければならないと考えている。

- ・掲載以外の質問事項
- ・地域経済の活性化に放置竹林を活用することについて
- ・消費税引き上げについての調査・検討について

胃がん撲滅のためのピロリ菌ABCリスク検査の普及と助成について



平石勝司 議員

質問 胃がん撲滅を図っていくことを目的に、土浦市として、特定健診にピロリ菌ABCリスク検査を加え、公費助成を実施してはどうか伺います。

保健福祉部長 ピロリ菌は、胃粘膜に生息している細菌で、胃に様々な障害を与えたりと言われており、ピロリ菌ABCリスク検査は、胃がん発症のリスクを4段階で判定する検査である。

土浦市では、がんの予防及び早期発見については、国が

定めるガイドラインに沿って胃部エックス線検査を採用して実施している。

このガイドラインでは、ピロリ菌の除菌が胃がん死亡率を低下させる効果の実証がまだ不十分とし、任意に受ける検査として位置付けられているので、現時点では、個人の判断により自己負担でピロリ菌ABCリスク検査を行うことが望ましいものと考えている。

ピロリ菌検査について、現在も厚労省の検討会等により研究が進められており、国の新たな方針が示された時には、迅速に対応してまいりたいと考えている。

- ・掲載以外の質問事項
- ・コンビニにおける証明書等の交付サービスについて

手話通訳者について

耳の不自由な方が本会議の傍聴を希望される場合には、手話通訳者の派遣をいたします。

ご利用の際には、少なくとも一週間前までに議会事務局へお申し込みください。